

みんなが活用できる学校図書館を目指して

和歌山市立日進中学校・宮小学校・太田小学校

1 取組の概要

和歌山市では、「第二次和歌山市子供読書活動推進計画～『子供と本』の未来をつなぐために～」を令和3年3月に策定し、読書活動の推進を図っている。また、平成28年度から学校司書を順次配置しているが、小学校が50校、中学校が18校、義務教育学校が1校あり、それぞれの読書活動における進捗状況は様々である。現在、学校図書館としては読書センターの機能の充実を図られているものの、学習・情報センターとしての機能には課題がある学校が多い。

令和7年度は、モデルケースやこれまでの実践等を普及することを目指し、年度当初からアンケート作成を行い、市内全体の現状把握や普及に取り組んだ。併せて、学校図書館の利活用や授業における学校司書との連携等に関する研修を開催し、市内の各小・中学校での学校図書館活用の推進を目指した。

2 これまでの取組

令和5、6年度は、学校図書館が「学習センター」として機能することを目指し、図書資料等を活用した調べ学習や特別活動等の学校図書館を活用した授業において、学校図書館の活性化、授業における指導方法や指導体制づくりに取り組んできた。また、「情報センター」としての機能充実に向け、蔵書の構成の偏りを見直し、各種事典や図鑑、郷土資料等の整備体制についても検討した。そして、学校司書と司書教諭等が連携し、児童生徒の情報活用能力を育てる効果的な指導方法を研究した。さらに、和歌山市立日進中学校、宮小学校、太田小学校の3校で研究授業を実施し、授業を市内の教員に公開することで、モデルケースの共有も行った。

これらの取組により、学校図書館を活用した授業実践モデルの作成や、学校司書との連携についての研究が進んだ。一方で、成果を市内の各校に広めていくことや、また各校の現状を把握し、活用の有用性を普及させていくことが、今後の課題として残った。

3 学校図書館機能活用に向けて

①アンケート調査（7月・12月）

学校図書館の活用を促進することを目的に、児童生徒の現状把握のため2度のアンケート調査を実施し、結果を分析した。その結果、児童生徒の自主的な図書館資料の活用には依然として課題があることが明らかになった。また、情報活用の基本的なスキルに対する意識は比較的高いものの、教科学習における学校図書館資料の利用意識は十分に高まっておらず、「学習センター」「情報センター」としての機能の有用性を実感するには至っていない状況が確認された。これらの結果を踏まえ、「本に触れる時間の確保」や「教科学習の中で図書館や本を活用する機会」を意図的に設けることの重要性であると考え、これまでの取組の資料を市内の小・中学校に提供した。

児童生徒アンケート

〈質問項目〉

- ア. 本を読むの好きですか。
- イ. 学校の図書館へ行くのは好きですか。
- ウ. 休め時間やほうか後などに、学校図書館へどれくらい行きますか。
- エ. 目次（もくじ）や索引（さくいん）の使い方を知っていますか。
- オ. 自分の知りたいこと（情報）を、本を使って調べることができますか。
- カ. 本とインターネットを目的のおうじて使い分けられますか。
- キ. 文章を書くときに、引用の仕方に気をつけていますか。
- ク. 教科学習のために、学校の本を利用していますか。
- ケ. 著作権について気をつけていますか。

〈回答項目〉

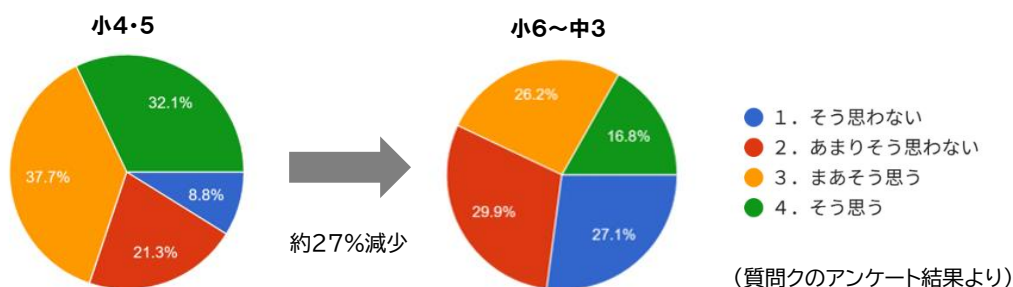
- ウケ外 1 そう思わない 2 あまりそう思わない 3 まあそう思う 4 そう思う
- ウ 1 少ない 2 一月に1回くらい 3 一月に2回くらい 4 一月に3回くらい

（アンケート調査の質問項目）

【提供資料】

- (1) 「図書館教育全体計画」・「司書教諭の支援計画」：学校図書館運営の指針
- (2) 「研究授業の指導案」・「使用図書リスト」：具体的な授業実践のイメージ化
- (3) 「授業実践例」：学校図書館を活用した授業づくりの参考
- (4) 「小・中別 選書リスト」：教科学習における図書資料活用を促す資料選び

また、アンケート調査の結果から、年齢が上がるにつれて本に触れる機会が減少していることや、学習に図書資料を活用する意識が低下していることがわかった。特に、「教科学習のために、学校の本を利用していますか」の肯定的な回答（3・4の回答）が、他の項目に比べると、減少幅が大きかった。この結果から、小学校高学年から中学校段階における教科学習の中での図書資料活用が課題であると考え、日進中学校において次のような取組を実施した。



②日進中学校における図書資料活用を促す選書リストの作成と普及

＜教科部会における図書選定＞

学校長と司書教諭が中心となり、図書選定のための教科部会を開いた。教科ごとに、図書資料を活用した授業を想定し、「どの単元で、どのように活用することが効果的か」を協議し、必要となる図書資料を検討した。教科によっては、授業内容に合う図書資料の選定が難しい場合もあったが、和歌山市読書活動推進課に協力を得ることで、適切な図書資料を確保することができた。

なお、図書選定にあたっては、図書資料の活用が目的にならないことを留意した。

＜選書リストの作成と市内全中学校への提供＞

選定した図書資料をリスト化し、来年度以降の選書に活用できるよう、市内の中学校へ提供した。

教科	書名	出版社
国語	読するより書くほうがいかに重要か 各教科で取組む学習計画	芳文社
	よみがえりたての方言集・方言和歌集・方言和歌集	学研
	歴史 方言和歌集 昔年たっても聞かせる	ハーパーコリンズ・ジブソン
	こころの語彙	成美堂出版
社会	決まらずのこころは誰が活用する	学研
	決まらずのこころは誰が活用する	学研
数学	たぶん世界一おもしろい数学 上巻	Gakken
	たぶん世界一おもしろい数学 下巻	Gakken
	中3 数学が面白いほどわかる本	KADOKAWA
	学習の目標LIVE 植物	学研
理科	学習の目標LIVE 動物	学研
	学習の目標LIVE 植物	学研
	学習の目標LIVE 動物	学研
	学習の目標LIVE 植物	学研
	学習の目標LIVE 動物	学研
	学習の目標LIVE 植物	学研
	学習の目標LIVE 動物	学研
	学習の目標LIVE 植物	学研
英語	英語で話せる日本語	永岡書店
	中学校英語で話せる日本の文化3	学研
	英語でかんたん和食	講談社インターナショナル
	日本語と英語でわかる！もっと知りたくなる日本	秀和システム
	死ぬまで話してみたい世界遺産ベスト38	IBCパブリッシング
	World Heritage in Japan Our Cultural and Natural Legacy	南雲堂
美術	英語で話したい日本の世界遺産	ジャパンタイムズ
	抽象画入門 視点が変わる気持ちのテクニック	えにし書房
家庭	もしもと絵は抽象である 高校の美術で探った「絵画とは何か」	風人社
	絵を見る技術 名画の構造を徹底解説	朝日出版
家庭	これ、フリス、ドレッシングの基本レシピ300	Gakken
	一汁三菜おぼろ飯	学研パブリッシング
家庭	すべてを話したい世界のレシピ	Gakken

(日進中学校の選書リスト)

4 今後の方向性等

以上の取組に加え、市教育委員会による学校図書館長研修等を実施したことで、市内全域において、学校図書館及び図書資料活用を促進し、その有用性を広く周知することができた。

これにより、今後の学校図書館活用の土台が構築できたと考えている。

情報活用能力の育成が求められる今、一人一台端末の活用を進めつつ、多様な情報源から情報を収集し、取捨選択する力を育てることが重要である。教科学習の中で図書資料を活用する授業を引き続き推進していきたい。